

エアロネクスト、モンゴルで新スマート物流 SkyHub®の実装をさらに加速し、 ドローンを組み込んだスマート物流の都市型モデルの構築を推進

～「モンゴル国／ドローンを組み込んだスマート物流の標準化実証事業」が経済産業省の
令和5年度補正「グローバルサウス未来志向型共創等事業費補助金」において採択～

株式会社エアロネクスト(本社：東京都渋谷区、代表取締役 CEO：田路圭輔、以下エアロネクスト)は、経産省の令和5年度補正「グローバルサウス未来志向型共創等事業費補助金（我が国企業によるインフラ海外展開促進調査：二次公募）」(以下 本補助金)において、エアロネクストの「モンゴル国／ドローンを組み込んだスマート物流の標準化実証事業」（以下 本事業）が採択されました。

今回採択された、本事業は、交通渋滞が深刻化しているモンゴル・ウランバートル市内において、医療分野を起点にドローン及び次世代輸送配送管理システムを活用したスマート物流の都市型モデルを実装し、新たな空のインフラを構築するものです。さらに、類似の課題を抱える新興国の他都市へ展開する可能性を検証していきます。

なお、本補助金に係る間接補助事業者については、令和6年9月9日から10月11日まで行われた公募への163件の応募の中から厳正な審査の結果、エアロネクストは110件の採択者の一つとして選ばれたものです。



【2023年11月13日実証実験】
ウランバートル市内を血液を載せて飛行
する物流専用ドローン AirTruck^{*3}



Newcom Group の Mongolia Smart Drone
Delivery と NEXT DELIVERY の運航チーム
(モンゴル 国立輸血センター)

慢性的な渋滞や脆弱な道路インフラによる医療分野の物資輸送の面での深刻な課題解決のため、エアロネクストは、モンゴルにおける活動を2022年から開始しています。具体的には、独立行政法人国際協力機構（JICA）の2022年度「中小企業・SDGs ビジネス支援事業」のニーズ確認調査の採択とそれに引き続き、2023年度「中小企業・SDGs ビジネス支援事業」～ビジネス化実証事業～の採択をうけ、ドローン活用による医療品の配送網構築のためのビジネス化実証事業を推進してきました。

昨年11月にはエアロネクストと現地の協力会社であるNewcom Groupと共に、国立輸血センター、モンゴル国立医科大学付属モンゴル日本病院間で、外気温-15℃という過酷な環境下、日本でいうところの「レベル4（有人地帯における補助者なし目視外飛行）」に該当する飛行の実証実験^{*2}を実施し、成功させ、その後着実にドローン活用による医療品の配送網構築を推進してきました。

エアロネクストの戦略子会社である株式会社NEXT DELIVERYの経験豊富な運航チームがNewcom GroupのMSDD（Mongolia Smart Drone Delivery）運航チームのスタッフを日本、モンゴルにてトレーニングして遠隔パイロット、チームを育成し、MSDD単独での運航体制の構築を進め、本年6月には、MSDDがモンゴル国民間航空庁（通称MCAA）からモンゴル国内で初となるドローンの商用飛行ライセンスを取得しました。8月からは、国立輸血センターから市内の3つの病院（日本モンゴル病院、アムガラン病院、第一母子センター）への血液のドローン配送の実運用を開始し、今まで救急車両などを利用して行われていた輸血用血液の配送の一部をドローンで配送する定期的な運用と緊急対応を実施しています。8月から9月末までの45日間で50回、輸血センターから3か所の病院へ、血液を輸送する商用飛行を行いました。また、手術用の輸血用血液の緊急配送により2名の人命救助にも貢献しました。

NEWS RELEASE

今回の採択により、エアロネクストは、モンゴルにおいてこれまで実施してきた上記の活動をさらに加速させ、医療分野を起点にしたスマート物流の都市型モデルの構築、検証、社会実装を行い、他の新興国への展開を目指してまいります。

【採択案件概要】

1. 提案内容

「モンゴル国／ドローンを組み込んだスマート物流の標準化実証事業」

2. 調査期間 2025年1月（採択決定日）～2025年12月31日

3. 実施概要（予定）

- 1) ドローン配送のデファクトスタンダードの構築
- 2) ドローン配送を組み込んだ最適な物流オペレーションのデファクトスタンダードの獲得
- 3) 事業化/資金調達活動ならびにキルギス・ウズベキスタンにおけるニーズ確認

【令和5年度補正グローバルサウス未来志向型共創等事業費補助金について】

経済産業省は、グローバルサウス諸国が抱える課題を解決することを通じて当該地域の市場の成長力を活かし、日本国内のイノベーション創出等により国内産業活性化を目指すと共に、グローバルサウス諸国との経済連携を強化や本事業の実施による事業実施国への裨益を実現するため、本邦企業が行うインフラ等の海外展開に向けた事業実施可能性調査事業（以下「FS事業」）及び小規模実証事業（以下「実証事業」）の実施に必要な費用の一部を補助するもの

参考：令和5年度補正「グローバルサウス未来志向型共創等事業費補助金（我が国企業によるインフラ海外展開促進調査：二次公募）」に係る間接補助事業者の採択結果について（2024年12月12日）

<https://www.meti.go.jp/information/publicoffer/saitaku/2024/s241212002.html>

以上

【ニュースリリースへの報道機関からのお問い合わせ】

株式会社エアロネクスト 広報部（担当：伊東） Tel: 03-6455-0626 Email: info@aeronext.com

資料

*1 新スマート物流

物流業界が共通に抱える人手不足、環境・エネルギー問題、DX化対応、等の課題を、デジタルやテクノロジーを活用しながら解を探究し、人々の生活に欠かせない生活基盤である物流を将来にわたって持続可能にするための官民での取り組み。ラストワンマイルの共同配送、陸送・空送のベストミックス、貨客混載、自動化技術、等々、業界内外の壁を越えたオープンパブリックプラットフォーム（O.P.P.）による共創で実現を目指す。

*2 ウランバートル市でドローンによる血液輸送の実証実験を実施し成功

2023年11月13日に、標高1,300mに位置するウランバートル市にて、医療定期配送網構築を目指し、国立輸血センター、モンゴル国立医科大学付属モンゴル日本病院間の往復約9.5kmのルートで、物流専用ドローン AirTruck にて、極寒の外気温-15℃という過酷な環境下、日本でいう「レベル4（有人地帯における補助者なし目視外飛行）」に該当する第三者上空における自動航行による飛行により血液を配送した。モンゴル国民間航空庁から正式な許可承認を得た輸配送用途の飛行としては、モンゴル国で初の飛行である。

（詳細はこちら <https://aeronext.co.jp/news/mongolia-poc/>）

*3 物流専用ドローン AirTruck

次世代ドローンのテクノロジースタートアップ、株式会社エアロネクストが ACSL と共同開発した日本発の量産型物流専用ドローン。エアロネクスト独自の機体構造設計技術 4D GRAVITY™ により安定飛行を実現。荷物を機体の理想重心付近に最適配置し、荷物水平と上入れ下置き機構で、物流に最適なユーザビリティ、一方向前進特化・長距離飛行に必要な空力特性を備えた物流用途に特化し開発した「より速く より遠く

NEWS RELEASE

より安定した」物流専用機です。日本各地の実装地域や実証実験で飛行し日本でトップクラスの飛行実績をもつ。

*4 新スマート物流 SkyHub™

エアロネクストとセイノーHDが共同で開発し展開する、既存の陸上輸送とドローン物流を繋ぎこみ、地上と空のインフラが接続されることで、いつでもどこでもモノが届く新スマート物流のしくみ。ドローン配送が組み込まれた、オープンかつ標準化したプラットフォームで、ドローンデポ™を拠点に、車とドローンを配送手段として、次世代輸送配送管理システム SkyHub™TMS をベースに、SkyHub™Delivery（買物代行）、SkyHub™Eats（フードデリバリー）、SkyHub™Medical（医薬品配送）、異なる物流会社の荷物を一括して配送する共同配送など、地域の課題やニーズに合わせたサービスを展開、提供する。

SkyHub™の導入は、無人化、無在庫化を促進し、ラストワンマイルの配送効率の改善という物流面でのメリットだけでなく、新たな物流インフラの導入であり、物流 2024 年問題に直面する物流業界において、物流改革という側面から人口減少、少子高齢化による労働者不足、特定過疎地の交通問題、医療問題、災害対策、物流弱者対策等、地域における社会課題の解決に貢献するとともに、住民の利便性や生活クオリティの向上による住民やコミュニティの満足度を引き上げることが可能になり、地域活性化を推進するうえでも有意義なものといえる。すでに日本では 9 以上の自治体で社会実装が始まっている。

【株式会社エアロネクストとは】

IP 経営を実践する次世代ドローンの研究開発型テクノロジースタートアップ、エアロネクストは、空が社会インフラとなり、経済化されて、ドローンで社会課題を解決する世界を生み出すために、テクノロジーで空を設計する会社です。コアテクノロジーは、重力、空力特性を最適化することで、安定性・効率性・機動性といった産業用ドローンの基本性能や物流専用ドローンの運搬性能を向上させる、独自の構造設計技術 4D GRAVITY®。この 4D GRAVITY®を産業用ドローンに標準搭載するため強固な特許ポートフォリオを構成し、4D GRAVITY®ライセンスに基づくパートナーシップ型のプラットフォームビジネスをグローバルに推進しています。また、ドローンを活用した新スマート物流 SkyHub®の実現のために戦略子会社を設立し、ドローン配送サービスの社会実装にも主体的に取り組んでいます。

*会社概要は <https://aeronext.co.jp/about/company/> をご覧下さい。

*エアロネクストおよびエアロネクストのロゴおよび、「4D GRAVITY (R)」は、株式会社エアロネクストの商標です。

*その他、このプレスリリースに記載されている会社名および製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。